

成果指標				
成果指標	整備率＝設置整備基数累計÷計画基数			
指標設定の考え方	地域再生計画において、H22～H26の5力年で浄化槽（個人設置型）の設置整備を350基計画しており、計画基数に対する設置整備基数を成果指標「整備率」とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標26年度
目標	60.00%(210:350基)	80.00%(280:350基)	100%(350:350基)	0
実績	40.00%(140:350基)	51.43%(180:350基)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	0			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	0			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会の抽出事業により、外部評価に諮ることとする。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・課題認識が未記入であることを含め、改善すべきである。・浄化槽を各世帯に設置している。集合タイプにするというメリットもあり、大いに推進をしていかなければならない。・オールA評価ならともかく、オールCなら何か書いてほしい。・事業の目的が河川・海等の公共用水域の水質保全となっている。目的に沿った成果指標を設定してほしい。・このシートのみにかかわらず、現状の認識とか、今後この事業についてどうする予定であるとか、それについて克服すべき解消すべき問題がどこにあるのか、原因が何にあるかも含めて可能な限り記入し、共通の認識を示していただきたい。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>下記の点を見直しの上、継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>補助金格差や将来の維持管理問題も踏まえ、市設置型から個人設置型への移行を促進すること。</p>